学術フォーラムの概要について（事後報告）

1　名　称：カーボンニュートラルに向けたエネルギー供給側と需要側の連携

2　日本学術会議以外の共同主催団体等：
・後援：エネルギー・資源学会、日本建築学会、空気調和・衛生工学会、
大阪大学カーボンニュートラル連携機構

3　開催日時：令和８年７月１５日（水）　１３時００分～１７時００分

4　開催場所：日本学術会議講堂

5　開催趣旨：
エネルギーシステムの供給側と需要側はこれまで別々に研究されることが通例であったが、それぞれの進展が総合に影響をおよぼし合っていること、近年の変動性再生可能エネルギーの普及により需給調整の役割を授業側がデマンドレスポンスとして担うことが必要とされていること、災害時のレジリエンス確保のためには両者が補完し合うことが必要になるなど、両者の密接な連携が求められるようになっている。
土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同カーボンニュートラル都市分科会および総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会のこれまでの議論を基に、供給と需要の両面からカーボンニュートラル時代のエネルギーシステムのあり方を議論する。

6　参加人数：
講演者等：２１名
その他の参加者：１６９名

7　特記事項：
① ７月１７日電気新聞２面に「需給連携で脱炭素化を／学術会議、フォーラムで課題議論」として記事掲載
② 土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同カーボンニュートラル都市分科会では、今回のフォーラムの成果を含め、２７期に設置を計画している次期分科会において意思の表出につなげる予定。